

愛媛大学で地方創生等を学ぶ学生への地方分権改革セミナー

- 愛媛大学の学生等を対象に、愛媛県庁・愛媛大学・内閣府が連携し、地方分権改革と提案募集方式を学ぶセミナーを開催。
- 学生が、自治体での実地演習に行った際、地域の課題解決を進めるうえで、提案募集方式を活用するアプローチを具体的に説明。
- 愛媛県内の空き家と地域交通に関する具体的な課題を元に、地方分権による解決方法を検討するワークショップを秋ごろに開催予定。

セミナー概要

- ◆日時：平成30年6月25日（月）16:20～17:50
- ◆場所：愛媛大学城北キャンパス共通講義棟
- ◆参加者：約60名（愛媛大学社会共創学部、法文学部学生等）
- ◆講師：内閣府 参事官補佐 舘澤清城
調査員 吉田和弘
- ◆事務局：愛媛県行革分権課、愛媛大学社会共創学部

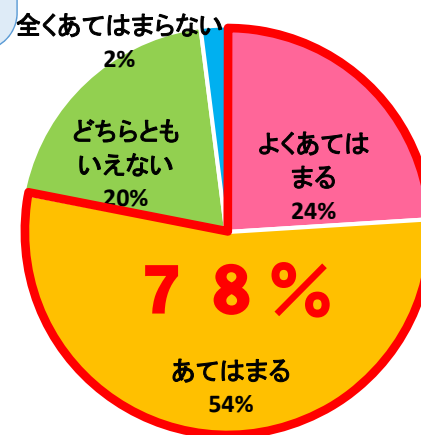


セミナーの状況

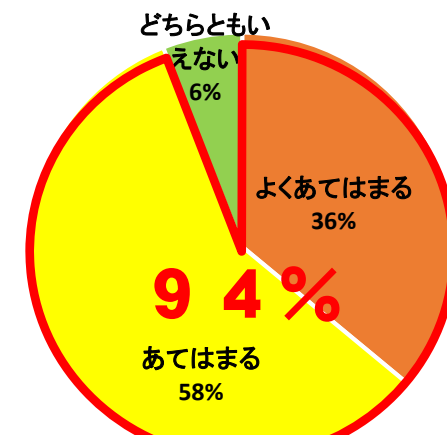


アンケート・学生の声

- 今回のセミナーで初めて知ることが多かった。また、こういったセミナーをやってほしい。
- 「地方分権」が何なのか、どういうものなのか自分がの中で明確にすることができた。



アンケート: セミナーに満足したか



アンケート: セミナーは有用だったか

愛媛大学・愛媛県とコラボした地域づくりワークショップ (H30.11.12)

- 愛媛県庁・愛媛大学・内閣府が連携し、愛媛大学及び愛媛県内自治体職員を対象にした地域づくりワークショップを開催(6月25日にセミナー実施)。愛媛県内の①空き家問題、②地域公共交通を解決するための議論が行われた。
- OWSでは、まず愛媛県内の空き家及び地域公共交通の専門家から現状と課題の講義を受講。その上で、学生と自治体職員がグループを作り、課題を解決するためのプロジェクトの考案と、推進する上で発生した課題を解決するために提案募集方式の活用を検討。学生の新鮮な発想と自治体職員の現場感覚を混ぜ合わせて活発な議論が行われた。

<WSで提案された主なプロジェクト>

◆空き家対策

- ・学生による空き家改修プロジェクト：授業の一環で、学生が空き家改修に参加できる仕組みを構築できないか
- ・POTSU POTSU HOTELプロジェクト：空き家をリノベーションし、つなぎ合わせて町全体を大きなホテルに

◆地域公共交通対策

- ・地域まるっとお助けサービスプロジェクト：有償ボランティアができる事業と並行して交通空白地帯での運送サービスを展開し、一体的に地域を支えることはできないか

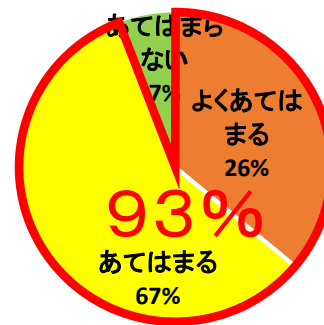
ワークショップ概要

- ◆日時：平成30年11月12日(月) 13:00~17:00
- ◆場所：愛媛大学城北キャンパス共通講義棟
- ◆参加者：約60名(自治体職員、愛媛大学学生等)
- ◆講師：内閣府参事官補佐 舘澤 清城 調査員 吉田 和弘
愛媛県不動産コンサルティング協会理事長 竹内 学氏
久万高原町総務課 伊藤 敦志氏



ワークショップに参加した方の意見

- 公務員志望なので、自治体の職員の方と関わり、実際にどのように地域づくりするのかを体験でき、刺激を受けた(学生)
- 自治体職員だけだと意見が偏るが、学生の積極的な発言と柔軟な発想が新鮮だった(自治体)



アンケート:セミナーに満足したか



ワークショップの状況

地方分権改革×大正大学地域創生学部とのコラボ（H30.7～）

- 内閣府では、地域の将来を担う若手人材育成、提案募集方式活用の新たな担い手・サポーター発掘等を目的として、平成29年より大正大学との連携を進めている。平成29年には地方分権改革に関する講義を実施。
- 平成30年7月には、学生が自治体のフィールドワークに行った際に、地域の課題解決を図る手段として、提案募集方式に関する講義を内閣府より実施。
- 今後は、フィールドワークを支援するため、パンフレットの提供や地域の課題発見・解決に向けた現地の学生へのアドバイス等、更なる連携協力を実施。

講師派遣の概要

- ◆日 時：平成30年7月3日（火）
①10:50～12:20、②13:10～14:40
- ◆場 所：大正大学 巣鴨校舎
- ◆参加者：大正大学地域創生学部
①3年生：50名、②1年生：115名
- ◆講 師：内閣府 参事官 岩間 浩

講義を受講した学生の声

- 将来は公務員を目指しており、自分が地方公務員として働く時に必要な制度だと感じた。
- 自治体のフィールドワークで、現場の課題を見つけたときに、その自治体の人と一緒に提案を考えてみたい。



講義の状況
講義の様子
上：2時限目
左：3時限目